

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①読み聞かせ団体「わたぼうし」胆振管内教育実践表彰/ディスカバリーカルチャー
- ②町内で入学式・始業式/4月1日付 教職員人事異動
- ③軽舞遺跡調査整理事務所紹介/戦争遺跡見学ツアーのお知らせ
- ④令和4年度英会話教室 /屋外スポーツ施設の利用案内/3月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

読み聞かせ団体「わたぼうし」胆振管内教育実践表彰受賞

3月23日（水）青少年センターで、胆振管内教育実践表彰式が行われ、山上和弘胆振教育局長から、読み聞かせ団体「わたぼうし」（代表 佐藤 睦子氏）に表彰状が授与されました。

教育実践表彰は、優れた教育活動を実践している団体や個人に贈られるもので、厚真町では平成19年の読み聞かせ団体「おはなしのびっこ」以来、14年ぶりの受賞となりました。

読み聞かせ団体「わたぼうし」は、平成16年4月に発足。小学生1～3年生を対象に放課後児童クラブや青少年センター図書室で、月1回の読み聞かせの活動から始まりました。平成24年からは、放課後子ども教室と合同開催で絵本の読み聞かせのほかにも手遊びやゲーム、季節の行事に合わせた工作など、子どもたちの興味関心や季節感のある活動を展開しています。

近年では、ゲームやインターネット等の普及により、本に触れる機会が減ってきているため、今後も読み聞かせ活動を通じて、多くの子どもたちに、本に親しむ機会をつくっていただきたいと思います。



3月23日（水）表彰式の様子

プラネタリウム×????

- 「ディスカバリーカルチャー」始めます -

教育委員会では、5月からプラネタリウムの投影と合わせて、新たな発見の場「ディスカバリーカルチャー」を開催します。毎月2回程度、子どもから大人までだれでも参加でき、スポーツや遊び、歴史や文化などについて、新しい学びの機会を提供します。（※プラネタリウムのみ、講座のみの参加も可能です）

毎月の生涯学習だよりで右記のように翌月の開講状況をお知らせしますので、参加を希望する場合は、事前に下記までお申し込みください。新しいチャレンジです…参加をお待ちしています！

※今年度4月まで実施していた毎週土曜日の定期投影会を、5月からは実施しませんので、あらかじめご了承ください。（平日の投影はご相談を！）

★5月の予定★

5月14日（土）

プラネタリウム×けん玉

5月29日（日）

プラネタリウム×ペタンク

◎ペタンクとはフランス発祥の生涯スポーツです。「地上でのカーリング」とも呼ばれています。

開催時間 10:00～11:30

場 所 青少年センター

申し込み 電話で事前申し込み

厚真町教育委員会社会教育 G

☎0145 - 27-2495

町内で入学式・始業式

4月7日(木)、新1年生の入学式が町内の各学校で行われました。今年は、小学校で40人、中学校で33人、厚真高校で23人の計96人の1年生が入学し、ワクワクとドキドキを胸に、新たな春のスタートを切りました。

各学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、創意工夫しながら、教育活動を展開していきます。ぜひ、これからも地域全体で学校や子どもたちを支えていきたいと思えます。



厚真中央小学校入学式

4月1日付 教職員人事異動

◀ 転出・退職

(敬称略)

厚真中央小学校校長	吉岡 ゆかり	(苫小牧市立沼ノ端小学校)
厚真中学校校長	阿部 隆之	(むかわ町立鶴川中学校)
厚南中学校校長	石田 憲一	(苫小牧市立ウトナイ中学校)
上厚真小学校教頭	釜田 英夫	(苫小牧市立北星小学校)
厚真中央小学校教諭	本村 瞬	(安平町立早来小学校)
上厚真小学校教諭	西 香寿巳	(苫小牧市立清水小学校)
上厚真小学校教諭	小倉 太郎	(洞爺湖町立虻田小学校)
厚真中学校教諭	工藤 明子	(苫小牧市立明倫中学校)
厚真中学校教諭	阿部 雄太	(苫小牧市立明倫中学校)
厚真中学校教諭	滝口 翔平	(退職)
厚南中学校事務主任	橋本 隆夫	(退職)

▶ 転入

厚真中小学校校長	河毛 幸至	(苫小牧市立苫小牧東小学校)
厚真中学校校長	北尾 稔	(登別市立青葉小学校)
厚南中学校校長	石崎 和昌	(苫小牧市立凌雲中学校)
上厚真小学校教頭	岩崎 誠之	(苫小牧市立北星小学校)
厚真中央小学校教諭	香田 裕之	(苫小牧市立拓勇小学校)
厚真中央小学校教諭	石黒 夏希	(伊達市立伊達西小学校)
上厚真小学校教諭	鶴田 千明	(むかわ町立穂別小学校)
上厚真小学校教諭	小山 尚美	(苫小牧市立拓進小学校)
上厚真小学校教諭	長門 優美	(新採用)
厚真中学校教諭	紺屋 雅子	(苫小牧市立啓北中学校山なみ分校)
厚真中学校教諭	真下 裕之	(苫小牧市立啓明中学校)
厚真中学校教諭	大村 悠斗	(福島町立福島中学校)
厚南中学校教諭	高橋 千恵	(苫小牧市立明野中学校)
厚南中学校教諭	根井 美咲	(むかわ町立穂別中学校)
厚南中学校教諭	永洞 颯大	(新採用)
厚南中学校事務主任	上村 隆智	(安平町立追分小学校)

先人の息吹

軽舞遺跡調査整理事務所

気軽に身近に

感じて

大好評！今シーズンも

昨年度は873人が来所

新しい発見を楽しんで！

軽舞遺跡調査整理事務所には、厚真町から出土した縄文土器や石器、アイヌ民族の日本刀や首飾りなどの出土品のほか、明治時代から現代まで続く厚真町の開拓、町民の生活の移り変わりを伝える約12,000点以上の郷土資料を保管、展示しています。昨年度は、町内外から873人の来館者があり、町内の小中学生も授業で訪れました。また、新型コロナウイルス感染症の規制緩和の際には、札幌圏からの中学校の研修旅行見学もありました。他の市町村にはない展示資料数と、手に取って触れるハンズオン展示は子どもから大人まで大好評です。今年も新たな発見を求めて、軽舞遺跡調査整理事務所へお越しください。お待ちしております！



厚真中央小学校



上厚真小学校



厚真中学校



余市西中学校



室蘭栄高校

このほか、厚真中学校職場体験や観光協会ガイド研修会、夏休み時期には縄文世界遺産関連の見学者などが訪れました。

軽舞遺跡調査整理事務所

・開所日 月曜～金曜日

午前9時～午後5時

・電話 0145-28-2733

※コロナ感染症の状況で休所等利用制限の場合があります。

戦争遺跡見学ツアーのお知らせ

令和4年8月15日で太平洋戦争の終戦77年目を迎えます。忘れつつある戦争の歴史を学び、現在の平和のありがたさや尊さについて改めて考える機会として、厚真町内と苫小牧市内のトーチカや飛行場跡地、^{さんごう}塹壕などの見学会を下記の日程で行います。

参加希望の方は、下記申込み先までお申し込みください。なお、見学先は屋外で、移動はマイクロバス等で巡ります。マスク着用や検温などの新型コロナウイルス感染症対策に御理解と御協力をお願いします。また、感染状況によっては中止となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※車内は席に余裕をもたせるなど、感染対策に配慮します。

日程・見学先

・令和4年5月22日(日)

出発：青少年センター前 午前9時30分 厚南会館前 午前9時50分

帰着：青少年センター・厚南会館前 午後4時30分ころ

・静川トーチカ、柏原塹壕群、旧陸軍沼ノ端飛行場跡掩体壕、鹿沼出雲神社奉安殿、豊丘地区兵舎跡群など

・各自持参：昼食と飲み物、動きやすい服装、運動靴など

申込み

・定員 先着20人

・受付 4月25日(月)～5月17日(火)の

平日9時～17時

・軽舞遺跡調査整理事務所

・電話 0145-28-2733

令和4年度英会話教室始まります！

～子どもから大人まで…みんなで楽しむ時間を～

教育委員会では、毎年、英会話教室を開講しています。今年度の講師は、4月に着任したALT（外国語指導助手）のアルビン・クマル先生（オーストラリア出身）です。

初心者クラスと上級者クラスに分かれて、英語を使ったゲームやクイズなどを行いながら、あいさつや自己紹介等、日常的に使える英語や日ごろの出来事について参加者同士で会話をしながら、楽しく英語を学べます。英語に興味がある方、外国の文化に興味がある方、新しいチャレンジをしてみたい方、どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください！



厚真の皆さんこんにちは。わたしはアルビンです。オーストラリアから来ました。北海道で暮らすことや英語を教えることを楽しみにしています！

Hello people of Atsuma! My name is Alvin. I'm from Australia. I look forward to living and teaching in Hokkaido.

【令和4年度英会話教室】

- 日時 6月1日～7月27日までの毎週水曜日
17:30～初心者クラス、18:30～上級者クラス
- 場所 青少年センター2階 研修室
- 対象 中学生以上
- ※19時以降の中学生の参加は保護者同伴または、送迎をお願いします。
- 申し込み 社会教育グループ（27-2495）※随時募集

★お願い★

登録者名簿を更新しますので、過去に登録していた方も、改めて申し込みをお願いします。

※参加する当日の申し込みでもかまいません。

【問い合わせ】

社会教育グループ ☎27-2495

3月定例教育委員会

◆報告事項◆

3月校長会議・教頭会議について／厚真町立中学校に係る部活動方針の一部改正について

◆議案◆

教育長の営利企業等の従事制限に関する規則等の一部改正について／厚真町教育研究所の設置に関する条例施行規則の一部改正について／厚真町要保護及び準要保護児童生徒就学援助要綱の一部改正について／厚真町教職員教育活動事業補助金交付要綱の一部改正について／厚真町小中高生徒指導連絡会議設置要綱の制定について／厚真町地域おこし協力隊・スポーツ振興支援員設置要綱の制定について／教育委員会事務局職員の人事について

◆その他◆

転入教職員の歓迎式について

★問い合わせ★

学校教育グループ ☎27-2494

屋外スポーツ施設の利用について

雪解けも進み、春らしいぽかぽかとした日々が続いています。この機会に、屋外スポーツ施設で体を動かしてみませんか？

●かしわ公園野球場

利用期間 5月1日～10月31日
利用時間 平日・土曜日 8時45分～21時
日曜日・祝日 8時45分～17時
※ナイターの利用は5月6日から開始

●上厚真パークゴルフ場

利用期間 4月15日～11月15日
利用時間 日の出～日没

●本郷いこいの森パークゴルフ場

利用期間 4月15日～11月15日
利用時間 日の出～日没

【問い合わせ】

スポーツセンター ☎27-3775



図書室だより

令和4年4月22日発行

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

2022年「子どもの読書週間」 4月23日(土)～5月12日(木)

標語:ひとみキラキラ 本にどきどき

4月23日は、子どもの読書活動について関心と理解を深めるとともに、子ども自身が本を読む意欲を高めることを目的に、2001年に「子ども読書の日」と定められました。また、読書推進運動協議会は、4月23日から3週間を「子ども読書週間」とし、全国の公共図書館、書店で様々な取り組みが行われています。

厚真町青少年センター図書室でも、本を読む楽しさを味わってもらえるように、毎年、取組を行っています。今年は、世界の民話の絵本の展示と、子どもの読書週間期間中に本を借りてくれた利用者の方へしおりをプレゼントします。

暖かくなり行楽にも良い季節となりました。外で思いきり遊んで楽しんだ後は、お家でゆっくり読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

展示:世界の民話絵本

日本でも長く愛され親しまれている、世界の昔話の絵本を展示します。

展示場所:青少年センター1階
図書室閲覧室入口

しおり プレゼント

貸出の際に印刷されるレシートをカウンターへお持ちください。1回の貸出につき、手作りのしおりを1枚プレゼントいたします。

配布場所:青少年センター図書室

配布期間:4月23日(土)～5月12日(木)

※しおりがなくなり次第配布終了



引き続き 感染拡大防止対策にご協力ください

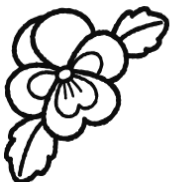
- ・図書室へ来るときは、マスクを着用して、入口で検温、消毒をする。
- ・図書室内では常にマスクをして大声での会話を控える。
- ・体調が悪い時、または家族の中に体調が悪い方がいる時は、外出を控える。

5月の休館日

3日(火) 憲法記念日

4日(水) みどりの日

5日(木) こどもの日



■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

5月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは

26日(木)10時から10時半まで

場所は 厚南子育て支援センターです。

☆ 放 課 後 子 ども 教 室 ☆

季節はめぐり、地面を覆っていた雪が解け、フキノトウや福寿草が一番乗りで顔を出し、春の訪れを感じさせてくれます。木々の枝先、ふんわりとした蕾つぼみが開花のときを待っている様子を目にすると、何とも言えないワクワクとした気持ちになりますね。真新しいランドセルが背中に大きく見える新1年生が、先輩の後ろをついて通学路に行く姿を見かけました。新年度の始まりです。進級を果たした子どもたちもまた、気持ちを新たに学校生活をスタートさせたことと思います。不安と期待が入り混じる時期ではありますが、春の暖かな日差しが、子どもたちの不安を少しでもやわらげてくれることを願います。

10年という節目となった令和3年度の放課後子ども教室。前年から引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加を控える状況があった中でも、令和3年度は延べ参加者数 3,806 人と例年並みの実績で終わることが出来ました。子ども教室への参加は事前登録制をとっていますが、登録率は全児童の9割を超え、そのうち、年間1回以上、子ども教室を利用する児童（実参加者数）も9割を超えています。活動内容としては、スポーツ・体育遊び、モノづくり、自然体験、レクリエーションゲームなど、年間約60のプログラムを実施しました。人と関わって何かに取り組むとき、必ずしも自分の思い通りにすべてが収まるとは限りません。思いがすれ違ってお互いに傷つけあってしまうこともあります。それでも、子どもたちは相手と関わりをもって遊ぶ機会を手放さず、何度もチャレンジしています。大人の視点で見れば、あきらめてしまいたくなるような場面でも、子どもたちはたくましく相手と、そして、自分と向き合い、人との距離感や思いやりを学んでいるのだと日々、感じています。葛藤による心の負荷が大きくなり過ぎないように注意をしながら、子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

平日の活動（通常教室）に加え、土日や夏・冬休み等を活用して実施している特別教室では、コロナ禍の影響で飲食を伴う食育プログラムへの制限があったものの、地域の方を講師に招き、地元の農産物に触れる機会として、厚真産大豆を使った豆腐づくりや環境保全林にある植物を使った染め物体験を初めて取り入れました。今年度も地域資源である人や産業、自然、文化と子どもたちとを結ぶプログラムを企画・実施していきたいと考えています。

11年目の春を迎えた放課後子ども教室です。この1年、大きな事故やケガがないよう十分に気をつけながら、『自分が育ったまちのことを、自分の体験をもとに、自分の言葉で語れる人材』を育てるべく、努めていきたいと思います。

